あ　い　さ　つ

宇都宮市立上河内中学校長　高　橋　　高

上河内中学校は３年目となりました、新任校長の髙橋です。

新型コロナウイルスの影響により，６月１日より学校が再開して９カ月が経ちました。３月に入ると３年生の卒業式や２年生の宿泊を伴うスキー教室が実施される予定になっています。

いよいよ年度のまとめの時期に入り，生徒・教職員は毎日忙しい日々を送っています。教育課程の見直し，学習全般の振り返りと計画，そして生徒全員が充実した学校生活を送るための手立てをもう一度検討する必要性があると思います。

平成３年度は新学習指導要領完全実施の年でもあり，教育書も変わり，授業の形態も変わらなければならない時代にきました。「主体的・対話的で深い学び」の授業を実践していかなければなりません。そのため，本校では教師「一人一授業」や授業力向上をめざしての「研究授業・研究協議」などを推進してきました。一時間一時間の「めあて」や「振り返り」を大切にして生徒が分かる授業に心掛けてきました。少しずつではありますが，授業に取り組む姿勢がよくなり，学力向上へとつながり成果となって表れてきました。これからも教職員が共通理解を図り，生徒の学力向上を図るために努力していきたいと考えています。

また，ギガスクールの推進の年でもあり，生徒一人に一台の端末が配付されることとなりました。これからの時代を生き抜くためにもＩＴＣを避けては通れません。各教科でどの単元でどのようにして活用していくのか，今研修をしているところです。是非，生徒が興味をもって取り組む授業にしたいと思います。

さらに，社会や地域の一員として自覚して貢献できるかを考え，そのためには地域を支えられる中学生になってほしいと願っています。この地域には梵天祭りや文化交流祭，運動会や福祉まつりととても伝統ある行事が沢山あります。一人でも多くの中学生がボランティアとして行事に参加し，地域を盛り上げてくれることを期待しています。

〈上河内中学校教職員スローガン〉

一　枚　岩